

既存ダム等の効果 九頭竜川水系 九頭竜ダム

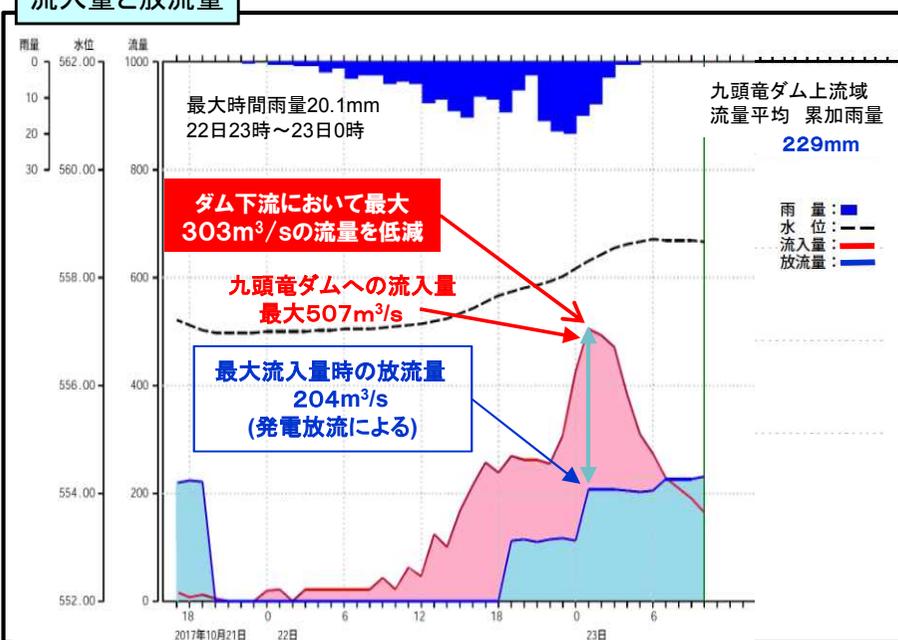
○平成29年台風21号に伴う豪雨において九頭竜川上流域では、**10月22日から10月23日にかけて**、総雨量が**220mmを超える**降雨になり、九頭竜ダムへの最大流入量が今年度最大となる**507m³/s**を記録。

○九頭竜ダムでは、**537万m³（東京ドーム4.3杯分）**の洪水を貯留し、ダム下流の朝日地点（大野市朝日付近）では、九頭竜川の水位を最大**0.9m**低下させる効果があったと推定。

位置図



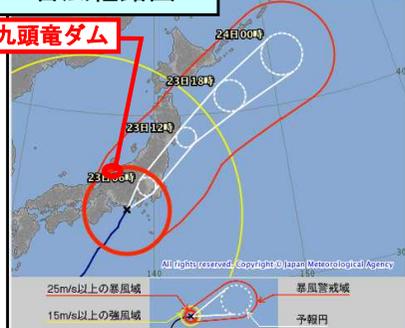
流入量と放流量



朝日地点 航空写真



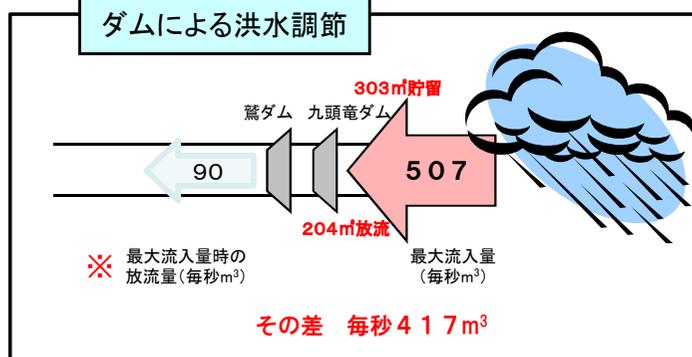
台風経路図



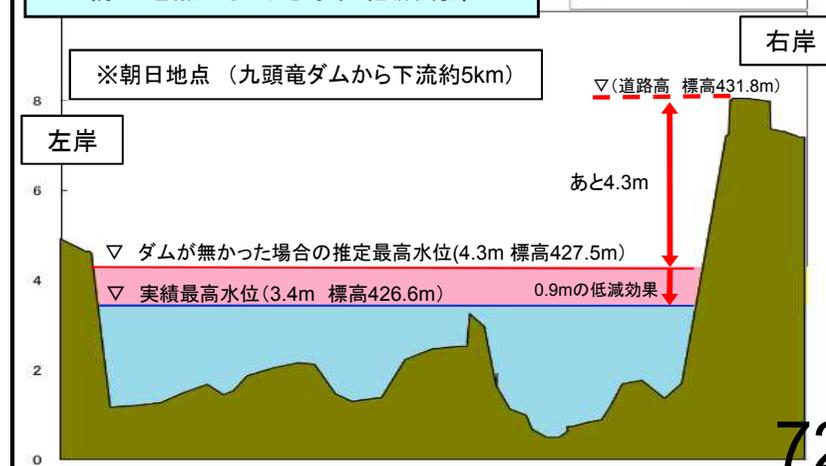
レーダー雨量



ダムによる洪水調節



朝日地点における水位低減効果



※九頭竜ダムからの発電取水204m³/sの時、鷺ダム(電発)からは90m³/s放流された。